



はじめに

この度は QuicXPlay U2J をご購入頂き、誠にありがとうございます。

「昔遊んだゲーム機で最新の USB ジョイスティック(ゲームパッド)を使いたい」そんな声に応じて QuicXPlay U2J が開発されました。

ぜひ当時のゲームを QuicXPlay U2J 接続した環境でもう一度操作してジョイスティックの進化を体感してみてください。

ご使用前には、本取扱説明書を必ずお読みください。

本書に記載されている製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

Nintendo Switch は任天堂株式会社の登録商標です。

PlayStation は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。

Windows、Xbox / Xbox Series / Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

PC Engine は株式会社コナミデジタルエンタテインメントおよびビッグローブ株式会社の登録商標です。

メガドライブ、SEGA は株式会社セガの登録商標または商標です。

X68000 はシャープ株式会社の登録商標です。

アフターバーナー II は株式会社セガの著作物です(©SEGA)。

リブルラブルは株式会社バンダイナムコエンターテインメントの登録商標です。

クレージー・クライマー／クレージー・クライマー 2 は株式会社ハムスターが権利を保有する商標または登録商標です。

目次

第 1 章	製品概要	(3 ページ)
第 2 章	使用時の注意と免責事項	(3 ページ)
第 3 章	動作環境	(4 ページ)
第 4 章	接続と電源(正常に動作しないとき)	(5 ページ)
第 5 章	ゲームソフトのアナログスティックモードに対応	(5 ページ)
第 6 章	対応するジョイスティックの種類	(6 ページ)
第 7 章	ジョイスティック操作の概要	(7 ページ)
第 8 章	動作モードと各機能の詳細	(7 ページ)
第 9 章	リバース機能、軸及びスイッチ類の入れ替え機能	(16 ページ)

第1章 製品概要



レトロゲーム機に QuicXPlay U2J を接続することで最新の USB ジョイスティック(ゲームパッド)を使用できるようになります。

各レトロゲーム機との接続には、それぞれの機器に合わせた専用接続ケーブルを用意しています。

対応機種は X68000、メガドライブ、PC エンジンです。

本製品の USB ポートに接続するアナログジョイスティックは通常時はデジタルジョイスティックとして動作します。

ゲームソフト側がアナログジョイスティックに対応していれば本製品をアナログモードに切り替えることで、アナログジョイスティックとして使用することができます。

※X68000 およびメガドライブの専用接続ケーブルはデジタル／アナログ両モードに対応しています。

※PC エンジンではデジタルモードとアナログモードでそれぞれ専用接続ケーブルが必要です。標準添付品はデジタルモード専用接続ケーブルです。(アナログモード専用接続ケーブルは別売)

※QuicXPlay U2J はルーナテクノロジーが独自に開発した製品です。シャープ株式会社及びその他の会社のライセンス製品ではありません。

第2章 使用時の注意と免責事項

QuicXPlay U2J はレトロゲーム機に接続して使用する製品のため、保証は初期不良のみとなります。初期不良の対応期間は手元に届いてから1週間です。期間を過ぎた後の対応はいたしかねますので、到着後速やかに動作確認を行ってください。

QuicXPlay U2J を使用して発生した損害等についてメーカー及び販売店は責任を負いません。

レトロゲーム機本体は経年劣化が進んでいるため、予期せぬ故障が発生する可能性があります。AC コンセントに接続するケーブル類までが劣化していると考えて、使用後は電源をオフにして、必ず AC コンセントから AC アダプタまたは電源ケーブルを取り外してください。

※レトロゲーム機とは販売から 20 年～30 年以上経過し、ゲーム機本体のメーカー保証及び修理対応が終了しているハードウェアを指します。

※経年劣化によるゲーム機本体側の個体差(端子の汚れや電圧の不安定さなど)によっては、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

第3章 動作環境

スタートアップセットとして下記の3種類を用意しています。

- ・X68000 対応セット
QuicXPlay U2J 本体 + X68000 対応ケーブル
- ・PC エンジン対応セット
QuicXPlay U2J 本体 + PC エンジン対応標準(デジタルモード)ケーブル
- ・メガドライブ対応セット
QuicXPlay U2J 本体 + メガドライブ3ボタン対応ケーブル

※PC エンジンのみアナログ対応ゲームのアナログモードを楽しむためにはPC エンジンアナログ対応ケーブルを追加購入する必要があります。(X68000とメガドライブは1本の接続ケーブルでアナログ・デジタルの両方に対応しています。)

※QuicXPlay U2J 本体はどのセットでも同じ物です。スタートアップセットに別売の接続ケーブルを購入することで複数のゲーム機でも利用することができます。



第4章 接続と電源(正常に動作しないとき)

・接続

レトロゲーム機に QuicXPlay U2J を付属するケーブルで接続し、USB ジョイスティックを USB コネクタに接続してからレトロゲーム機の電源をオンにします。接続を切る場合は必ず電源を切ってから行ってください。

USB 接続のジョイスティックは電源投入後でも切り離すことが仕様の的には可能ですが、ゲームの動作に異常が生じたりする場合がありますので必ず電源を切ってください。

・電源

正常に動作していた動作環境に QuicXPlay U2J を正しく接続しても正常に動作しない場合、よくある原因の1つとして電源容量の不足があります。(電圧低下、ノイズが増大するなどの症状が発生します。)

※ゲーム機本体(AC アダプタを含む)の経年劣化により、必要な電源容量を確保できなくなっている場合もあります。

ゲーム機内部にある動作電源の生成回路(レギュレーターまたは DC/DC コンバーター回路)の電流供給上限に余裕がある場合に限り、国内の安全基準(PSE マーク等)を満たした適切な仕様の別売 AC アダプタへ変更し、電流容量を上げることで動作する場合があります。

 仕様の異なる AC アダプタの選定や使用は、誤ると機器の破損、発煙、出火などの重大な事故につながる恐れがあり、大変危険です。専門的な知識をお持ちでない方の実施はお控えください。

 実施される場合は、必ず対象機器の要求電圧・電流仕様、コネクタ形状、極性、および AC アダプタの安全認証(PSE マーク等)をご確認の上、すべて自己責任において行っていただきますようお願いいたします。

第5章 ゲームソフトのアナログスティックモードに対応

アナログスティックに対応したゲームソフトでは QuicXPlay U2J をアナログモードにすることでジョイスティックをアナログ動作することが可能です。このモードでは最新のゲーム機と同様にスティックの傾きに合わせた出力が可能になります。

※標準動作(デジタルモード)では、USB に接続されたアナログスティックを閾値を基準にオンまたはオフを判別して出力しています。

第6章 対応するジョイスティックの種類

QuicXPlay U2Jに接続できるのはUSB 接続対応のジョイスティックです。有線だけでなく、USB dongleといわれる無線受信機とセットになった一部のジョイスティックにも対応しています。

※無線通信の場合は通信方式が 2.4 GHzと記述があり、専用USB dongleが付属するジョイスティックのみ利用可能です。

※USB dongleとジョイスティック本体の通信方式が汎用に利用できる Wi-Fi または Bluetooth の場合は動作しません。

※全ての USB ジョイスティックの動作を保証するものではありません。

※有線接続のジョイスティックの中には電源供給のみ有線で、通信は無線を使用する場合があります。この場合は使用できません。ジョイスティックの仕様を確認してください。

QuicXPlay U2Jは各社 USB ジョイスティックに対応する為に標準的なジョイスティックの規格で XInput または DirectInput(HID)などに対応したジョイスティックで動作するように設計しています。

(XInput と DirectInput を切替えできるジョイスティックでは XInput での使用を推奨します。)

DirectInput(HID)は古い規格ですが、ボタンの配置や詳細については各社で自由に設定できます。その結果、各社で互換性が無いため(パソコンなどで使用する場合は専用ドライバーが必要です)、QuicXPlay U2J では意図した動作をしない、または全く動作しない場合があります。その場合は動作確認済みの USB ジョイスティックの使用を検討してください。

動作確認済のジョイスティックは販売店のウェブサイトで公表しています。

【重要】

・バッテリー内蔵ジョイスティックについて

バッテリー内蔵のジョイスティック(例:ソニー/プレイステーション用ジョイスティックなど)を有線で接続して使用する場合は、別の環境で必ず満充電にしてください。ゲーム中に充電動作が始まり、レトロゲーム機からの電源供給能力を超えると、レトロゲーム機・本製品の異常動作や故障の原因となる場合があります。バッテリーを取り外しても使用可能なジョイスティックの場合は外しておくことを推奨します。

・レトロゲーム機の電源供給能力について

レトロゲーム機が QuicXPlay U2J 及び USB ジョイスティック(有線接続もしくは USB dongle)の動作に必要な電源を供給することが出来ない場合は動作しません。これは経年劣化等を含む電源供給能力の低下等も含みます。

【QuicXPlay U2J で動作するジョイスティックの主な仕様(3種類)】

●ソニー/プレイステーション用ジョイスティック類

例)ソニー/プレイステーション3または4の純正及び互換 USB ジョイスティック (有線接続のみ対応)

●任天堂/スイッチ用ジョイスティック類

任天堂スイッチ互換 USB ジョイスティック (有線接続対応のもの)

※純正(Switch Pro コントローラー)は電氣的仕様から使用できません。

●マイクロソフト/XInput、DirectInput 仕様の PC 用ジョイスティック類

※マイクロソフトの XBOX ONE (GIPUSB)系には対応していません。

※DirectInput はメーカーごとにボタン配置等に違いがあります。

第 7 章 ジョイスティック操作の概要

QuicXPlay U2J はジョイスティック各社ごとに異なるボタンの配置や機能を独自に再度配置しなおすことで、どのジョイスティックでも同じように操作することができます。

一般的なジョイスティックは右に並ぶ 4 つのボタンは○△□×表記または ABXY 表記で、一部のジョイスティックでは数字表記がありますが、これらの表記に関係なく、ボタンの物理的な上下左右の位置関係を基準に全て同じボタンとして扱うため QuicXPlay U2J がサポートしているジョイスティックならどれも同じように操作できます。

その他スティックの上下を反転するリバース機能、ボタンの配置を入れかえる機能があります。

第 8 章 動作モードと各機能の詳細

QuicXPlay U2J は対応するレトロゲーム機ごとに最適な操作になるよう自動的にボタンの機能を配置、また有効/無効にします。デジタルモードでの動作もレトロゲーム機ごとに違いますので、詳細は各機種の説明を参照してください。本章では各機種共通の仕様について説明します。

●デジタルモード(通常モード)

QuicXPlay U2J を接続したレトロゲーム機の電源をオンするだけで自動的にデジタルモードになります。デジタルモードではレトロゲーム機の純正ゲームパッドと同等の動作をします。

X68000 -----

アタリ2ボタン版(MSX 互換2ボタン版)の規格に対応しています。
基本動作は方向キー(十字ボタン)とボタン1、ボタン2で操作します。ボタンやスティックの呼称はメーカーごとに多少異なりますので、位置関係から実際に割付られている機能を把握してください。
QuicXPlay U2J では下図のように方向キーとボタン1、ボタン2を想定して設計しています。



また、一部の特殊ジョイスティック(方向キーが2つあるジョイスティック)にも対応しています。



ジョイスティックのボタン割当の例

ソニー PS3の互換ジョイスティックを使用した場合での割当を説明します。各ボタンの名称はゲーム機により多少異なりますので、名称に関係なく使用するジョイスティックの配置に注目してください。例えば右に位置しているボタンはPS3では○、△、□、×ですが、メーカーによりA、B、X、Yのアルファベット表記や1、2、3、4の数字表記等、様々です。



ボタンの配置 X68000のデジタルモード



・方向キー

左に位置して進行方向等を決めるボタンはアタリ仕様も同様に方向キー(十字ボタン)となります。このキーはアタリ2ボタン版(MSX 互換2ボタン版)のゲームパッドにもある共通したキーです。

QuicXPlay U2J ではこの方向キーに加えて左スティックも方向キー(十字ボタン)として利用可能です。

・ボタン1

×ボタン、□ボタン、L1 ボタンの三種類のボタンはボタン1(トリガー1)に対応しています。

・ボタン2

△ボタン、○ボタン、L2 ボタン三種類のボタンはボタン2(トリガー2)に対応しています。

※QuicXPlay U2J では一つのボタンの機能を複数に割り当てしています。ジョイスティック自身が持つ連射機能を特定のボタンに登録すれば連射機能付きのボタンと単発のボタンを用意できるようにしています。

※連射機能など、特殊機能の有無、その他についてジョイスティックのマニュアルをご覧ください。

※一部のジョイスティックではボタン1(トリガー1)、ボタン2(トリガー2)の動作が反対のものがああります。

※ボタンの配置を変えたい場合はリバース機能を使用してください。ボタン1、ボタン2の入れ替えが可能です。

・その他特殊ジョイスティックへの対応

リブルラブルやクレイジークライマー、クレイジークライマー2等のゲームが対応している方向キーが2つある特殊なジョイスティックも QuicXPlay U2J に接続したジョイスティックで同じ動作をすることが可能です。

QuicXPlay U2J 側は設定する必要が無く、ゲームソフト側で下記の手順を設定するだけです。

(詳しくはゲーム付属の説明書をお読みください)

- 1)ゲーム起動後に「F 1」キーを押しコンフィグレーション・モード(機能設定モード)にします。
- 2)JOY MODE で TWIN PLUS PAD を選択します。
- 3)SRAM SAVE で設定内容を保存
- 4)EXIT で設定を終了します。

PCエンジン -----

PCエンジン 純正の2ボタンゲームパッドから連射機能を除いた動作をします。連射機能は接続するジョイスティック側の機能を使用してください。

その他の基本動作はSELECT ボタン、RUN ボタンと方向キー(十字ボタン)、ボタンⅠ、ボタンⅡが利用できます。ボタンやスティックの呼称はメーカーごとに多少異なりますので、位置関係から実際に割付られている機能を把握してください。

QuicXPlay U2J では下図のように方向キーとボタン1、ボタン2を想定して設計しています。



ジョイスティックのボタン割当の例

ソニー PS3の互換ジョイスティックを使用した場合での割当を説明します。各ボタンの名称はゲーム機により多少異なりますので、名称に関係なく使用するジョイスティックの配置に注目してください。例えば右に位置しているボタンはPS3では○、△、□、×ですが、メーカーによりA、B、C、Dのアルファベット表記や1、2、3、4の数字表記等、様々です。



- ・SELECT ボタン

SELECT ボタンと左スティックのボタン操作(L3 ボタン)が対応しています。

- ・RUN ボタン

START ボタンと右スティックのボタン操作(R3 ボタン)が対応しています。

- ・方向キー

左に位置している進行方向決めるボタンは PC エンジンでも同様に方向キー(十字ボタン)となります。また、このキーに加えて左スティックも方向キー(十字ボタン)として利用可能です。

- ・II ボタン

×ボタン、□ボタン、L1 ボタンの三種類のボタンが対応しています。

- ・I ボタン

△ボタン、○ボタン、L2 ボタンの三種類のボタンが対応しています。

※QuicXPlay U2J では一つのボタンの機能を複数に割り当てしています。ジョイスティック自身を持つ連射機能を特定のボタンに登録すれば連射機能付きのボタンと単発のボタンを用意できるようにしています。

※連射機能など、特殊機能の有無、その他についてジョイスティックのマニュアルをご覧ください。

※ボタンの配置を変えたい場合はリバーズ機能を使用してください。I ボタン、II ボタンの入れ替えが可能です。

メガドライブ -----

メガドライブ純正の 3 ボタン仕様のコントロールパッドと同等の動作をします。



ジョイスティックのボタン割当の例

ソニー PS3の互換ジョイスティックを使用した場合での割当を説明します。各ボタンの名称はゲーム機により多少異なりますので、名称に関係なく使用するジョイスティックの配置に注目してください。例えば右に位置しているボタンはPS3では○、△、□、×ですが、メーカーによりA、B、C、Dのアルファベット表記や1、2、3、4の数字表記等、様々です。



- ・START ボタン

START ボタン、右スティックのボタン操作(R3 ボタン)が対応しています。

- ・方向キー

左に位置している進行方向決めるボタンはメガドライブでも同様に方向キー(方向ボタン)となります。また、左スティックも方向キー(方向ボタン)として利用可能です。

- ・A ボタン

×ボタン、□ボタンの二種類のボタンが対応しています。

- ・B ボタン

△ボタン、○ボタンの二種類のボタンが対応しています。

- ・C ボタン

R1、R2 ボタンが C ボタンに対応しています。

※QuicXPlay U2J では一つのボタンの機能を複数に割り当てしています。ジョイスティック自身を持つ連射機能を特定のボタンに登録すれば連射機能付きのボタンと単発のボタンを用意できるようにしています。

※連射機能など、特殊機能の有無、その他についてジョイスティックのマニュアルをご覧ください。

※ボタンの配置を変えたい場合はリバーズ機能を使用してください。A ボタン、B ボタンの入れ替えが可能です。(C ボタンは固定です)

●アナログモード

QuicXPlay U2J はアナログスティック対応ゲームに対応したアナログモードを持ち、電源投入時の操作または接続するケーブルにより切り替えることができます。

※アナログモードはゲームソフトが対応している(アナログモードをゲームソフト上で選択するか、接続している機器を自動認識する)場合のみ使用できます。アナログモードに対応していないゲームソフトでアナログモードにするとゲームソフトは正常に動作しません。

X68000／メガドライブ -----

X68000 とメガドライブは QuicXPlay U2J の Mode select ボタンを押しながらゲーム機の電源をオンにします。(電源投入後、Status LED が点灯すればボタンを離してください。)

メガドライブでアナログモードにする場合、アフターバーナー II ゲームソフトでは接続されているジョイスティックがアナログモードと認識するとゲーム画面の左下に"CONTROL ANALOG-JOY"と表示します。表示されない場合はデジタルモードですので、アナログモードにしたい場合はもう一度最初から上記の手順を実行してください。(デジタルモードで起動した場合は "CONTROL PAD"と表示します。)

※アナログモードから通常(デジタル)モードにしたい場合はレトロゲーム機本体の電源をオフにして通常どおり Mode select ボタンを押さずに電源オンにします。



PC エンジン -----

PC エンジン はアナログ専用ケーブルを使うことでアナログモードが使えるようになります。アナログモードにするための特別な操作はありません。(QuicXPlay U2J が接続ケーブルを自動的に認識します。)

※アナログモードから通常(デジタル)モードにしたい場合はレトロゲーム機本体の電源をオフにしてゲーム機と QuicXPlay U2J を接続するケーブルをデジタル専用ケーブルに交換します。

第9章 リバース機能、軸及びスイッチ類の入れ替え機能

ジョイスティックのスティックの上下左右の入れ替え(リバース)やボタン配置の入れ替えができます。(左右2つあるスティックも個別に設定できます。)

※方向キー(十字ボタン)はリバース、入れ替えはできません。(変更操作に使用するだけです。)できるのはスティックとボタンのみです。

※これらの機能は QuicXPlay U2J の電源が切れると初期状態に戻ります。再度変更したい場合は設定しなおしてください。

●左スティックの上下左右の入れ替え(リバース機能)

・上下の入れ替え

左スティックを上下のどちらか(どちらに倒しても OK です)に倒します。この状態で QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。これで左スティックの上下が入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。

・左右の入れ替え

左スティックを左右のどちらか(どちらに倒しても OK です)に倒します。この状態で QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。これで左スティックの左右が入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。

●右スティックの上下左右の入れ替え(リバース機能)

左スティックの入れ替え操作と同じです。左スティックで操作した作業と同じ操作を右スティックで行うことで入れ替えができます。

●左スティックの軸の入れ替え(左右軸と上下軸の操作を入れ替えます)

方向キー(十字ボタン)の左ボタンを押したままで QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。左スティックの軸が入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。

●右スティックの軸の入れ替え(左右軸と上下軸の操作を入れ替えます)

方向キー(十字ボタン)の右ボタンを押したままで QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。右スティックの軸が入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。

●ボタン1(トリガー1)とボタン2(トリガー2)の入れ替え

ジョイスティックの右側のボタン○、△、□、×のいずれか1つボタンを押しながら QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。これでボタン1(トリガー1)、ボタン2(トリガー2)が入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。

●ジョイスティックの上部側面にある L1 ボタン、L2 ボタンと R1 ボタン、R2 ボタンの入れ替え

L1 ボタン、L2 ボタン、R1 ボタン、R2 ボタンのいずれかを押しながら QuicXPlay U2J の上部にある Mode select ボタンを1回押して放します。これで L1 ボタン、L2 ボタン,そして R1 ボタン、R2 ボタンが入れ替わります。もう一度同じ操作を繰り返すと元に戻ります。



Hobbies shop
FlightDesign

© 2026 Flight design , Luna technology